

8 題材構造図

<学習前の生徒の意識>

- 自分の衣服の手入れのほとんどを、家族に任せてしまっている。どのように手入れをするのかあまりわからない。
- 安全で安心できる生活空間にするためには、どうしたらよいのだろう。

貫く課題

関心・意欲・態度

工夫・創造

技能

知識・理解

第1題材「気持ちよく着よう！」(全9時間)

①衣服の役割 (1) ア  
私たちが毎日着用している衣服を交流する活動を通して、衣服の役割が分かり、目的に応じた衣服の着用に関心をもつことができる。

⑤⑥⑦⑧  
日常着の手入れ(補修：まつり縫いとスナップ付け) (1) ウ  
衣服の材料や状態に応じた補修の方法を知り、目的に応じた縫い方を選び、工夫し、実践することができる。

②衣服の材料の特徴 (1) イ, ウ  
観察実験や表示をもとに、衣服の材料の特徴や材料に応じた適切な手入れの仕方を理解することができる。

③日常着の選択と購入 (1) イ  
衣服の入手について必要な情報を収集・整理する活動を通して、衣服を計画的に活用する必要性や目的に応じた衣服の適切な選択について理解することができる。

⑨自分らしい着方 (1) ア, イ  
衣服の組み合わせの印象を交流したり、自分に似合う色を見付けたりする活動を通して、着方によって印象が変わることに気付き、自分らしい着方を工夫している。

④日常着の手入れ (1) ウ  
衣服の材料や汚れに応じた日常着の手入れに関心を持ち、洗濯機を用いた洗濯方法が分かり、家庭での実践計画を立てることができる。

気持ちよく衣服を着るにはどうしたらいいだろう

第2題材「つくり出そう！安全・安心・快適生活空間Ⅰ」(全6時間)

①住まいと生活の関わり (2) ア  
住まいには様々な働きがあることを知り、何気なく生活している住まいのありがたさや、住まいの様子に気付き、自分や家族にとって安全・安心・快適な生活空間をつくり出そうとする意欲をもつことができる。

②家族と住まい (2) ア  
自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて考え、住まいに必要な空間とその役割や日本の住まいの文化について理解することができる。

③室内の空気調節・防音の工夫 (2) イ  
室内の空気を清潔にすることで、家族の健康を保つことができることや、家族の健康に配慮した空気調節について理解することができる。

④住まいの安全(家庭内事故の防止) (2) イ  
幼児や高齢者に家庭内事故が多い原因を、心身機能の特性と結びつけて考え、家庭内事故を防止するための具体的な方法について理解することができる。

⑥快適な住まい (2) イ  
家族の願いや、家族構成にあった家具の配置を考えることを通して、「空気調節」「音」「家庭内事故」「災害」などの視点から、快適な住まい方の工夫をすることができる。

⑤住まいの安全Ⅱ(災害への備えのある住まい) (2) イ  
家庭における災害対策を考える活動を通して、災害に備えて家具を固定したり、配置を工夫したりすることで被害を小さくできることに気付き、被害を防ぐための具体的な方法について理解することができる。

安全・安心できる快適な生活空間をつくり出すにはどうしたらいいだろう

第3題材「つくり出そう！安全・安心・快適生活空間Ⅱ」(全8時間)

①生活をより豊かにするには (2) イ (3) アイ  
自分や家族の生活の中でウォールポケットバッグを具体的に使用する場面を考え、交流する活動を通して、「美しさ」「使いやすさ」「丈夫さ」を工夫した作品をつくるのが豊かな生活につながることに気付き、製作への意欲と見通しをもつことができる。

③ポケットの工夫 (3) ア  
使いやすいポケットや付属品の工夫を考える活動を通して、使用目的や対象者に合わせて形や大きさ、種類、配置を決めることが大切であることに気付き、根拠を明確にして工夫を説明することができる。

②バッグの大きさ (3) ア  
目的に合わせて出し入れしやすく便利なウォールポケットバッグにするために、ゆとりやまちを理解し、本体の幅や深さを決定することができる。

④⑤裁断・ポケット作り (3) ア  
自分の願いを表した製作計画に従って、布の無駄がないようにしつけや裁断をしたり、ポケットの幅や深さを考えながら、適切な縫い方で丈夫に縫ったりすることができる。

⑧より安全で快適な生活空間を目指して (3) アイ  
作品の評価・改善について話し合ったり、これまでの学習を振り返ったりする活動を通して、より豊かな生活をつくり出すには、生活を見つめ、工夫改善していくことが大切であることに気付き、実践していこうとすることができる。

⑥本体作り・ひも、付属品の縫い付け (3) ア  
自分の願いを表した製作計画に従って、目的に応じた縫い方や付属品の取り付けを安全に実践できる。

⑦本体作り(仕上げ) (3) ア  
作品を表に返し、アイロンをかけたリミシンでステッチをかけたりすることで、見た目がよくて丈夫な作品に仕上げることができる。

生活をより安全・安心・快適にするにはどうしたらいいだろうか

<学びに向かう力>

- 衣服の役割を考えて衣服の購入や着用したり、衣服の材料や汚れに応じて正しく手入れや補修を行ったりしていきたい。
- 安全で快適な生活空間をつくり出すために、空気調節や音、防災や家庭内事故を日頃から意識したり工夫したりしたい。
- 快適・安全・持続可能な社会の構築に向けて、自ら衣生活・住生活を工夫していきたい。